

「魅力」あふれるまち

18.農林水産に関する施策

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	農林水産
基本方針	農業の振興		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	18-01-①	施策名	農地の保全と生産基盤の強化	

施策の概要

土地改良施設の計画的な改修を進めるなど、農地の保全に努め、効率的な営農環境を維持するとともに、農地の活用を円滑に進めるための基盤の強化を進めます。

成果指標(単位)	世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策事業取組団体の活動面積 (ha)				
	令和6年度 (※基準値)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値		497	545	545	545
実績値	497	497			

成果指標実績に対するコメント

世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策事業の活動面積は、現状の面積を維持することができたが、新規の加入組織を掘り起こすことができなかった。

施策の達成度評価

地域や土地改良区に対して補助金を交付することで、農地の保全を図るとともに、草津用水を始めとした関係機関と連携しながら、営農環境の整備を推進した。また、県営馬場山寺基盤整備事業の実施にあたり各種支援を行った。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.26暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる」があり、昨年度偏差値を上回る結果であった(上昇率は2.1ポイント)。こうした偏差値の上昇も踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き同事業を推進したい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

土地改良事業に係る各種支援や土地改良区との連携により、農地および農業用施設を地域と共に保全・管理できる体制整備を図っていく。また、県営馬場山寺基盤整備事業の推進のため、引き続き支援する。

当該施策は、農地の保全や生産基盤の強化だけでなく「No.26暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる」といったウェルビーイング向上にも資する取り組みであると考えており、こうした上昇傾向を踏まえ、引き続き、ウェルビーイング向上の観点からも同事業を推進したい。

18-01-①

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
農業振興地域整備計画策定事業	農林水産課	○	草津市農業振興地域整備計画に基づき、農業振興地域内農用地の無秩序な農用地のかい廃を防ぎました。
土地改良事業費補助金事務	農林水産課	○	地域主体で取り組む土地改良事業に対する支援により、施設の機能維持および更新に努めた。
農業多面的機能発揮促進事業	農林水産課	○	土地改良区を支援し、換地、評価作業に取り組んだほか、県営事業として実施設計業務に必要な経費の負担を行った。
県土地改良事業費負担金事務	農林水産課	○	県営で実施する農業用水管更新事業の事業費を負担することで、安定的な農業の確立を目指した。
農業委員会運営事業	農業委員会事務局	○	農業委員等と連携し、「遊休農地の解消」、「担い手への農地利用集積」、「新規参入の促進」に向けた取組を行った。

事務事業	担当課
農地基本台帳整備事業	農業委員会事務局
土地改良事業推進対策事務	農林水産課
人・農地問題解決加速化支援事業	農林水産課
土地改良施設維持管理事業	農林水産課
農地中間管理事業	農林水産課
有害鳥獣捕獲事業	農林水産課
単独土地改良対策事業補助金事務	農林水産課

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未満の成果であった

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
26	暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる	実数	3.6	3.7			
		偏差値	56.4	58.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)	44								

■施策評価シート

18-01-②

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	農林水産
基本方針	農業の振興		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	18-01-②	施策名	人材の確保・育成と農業経営の強化	

施策の概要

経営形態の法人化や担い手農家への支援制度の活用を推進と併せて、企業参入や、女性の農業への参画推進等、幅広い人材の確保に努めるとともに、生産性の向上、販路の拡大、高付加価値化の推進による農業所得の向上に向けて、農業経営の育成・強化を進めます。

成果指標(単位)	認定農業者数(件)				
	令和6年度 (※基準値)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値		65	66	67	67
実績値	63	57			

成果指標実績に対するコメント

高齢化による離農などにより令和7年度の認定農業者数は57件となり、令和6年度から6件減少し、目標値を達成することができなかった。

施策の達成度評価

農業者への各種交付金制度の周知を図り、農家の経営強化に努めたほか、中心経営体および新規就農者に対する補助金や、認定農業者制度についての周知等を通じて、担い手の育成を図った。また、令和6年度に作成した地域農業経営基盤強化促進計画(地域計画)について、地域の農業委員、担い手などを集めて協議の場を開き今後の農地の集積・集約について話し合いを行いました。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.26暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる」があり、昨年度偏差値を上回る結果であった(上昇率は2.1ポイント)。こうした偏差値の上昇も踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き同事業を推進したい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

新規の認定農業者を増やすため、認定のメリットとなる施策や支援の周知を図るとともに、多様な担い手を含めた新規の農業者確保の取組を進める。また、農地の集積・集約に向けて、地域ごとに担い手会議や全体会議を開催し、地域農業経営基盤強化促進計画(地域計画)の見直しを進める。

当該施策は、農地の保全や生産基盤の強化だけでなく「No.26暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる」といったウェルビーイング向上にも資する取り組みであると考えており、こうした上昇傾向を踏まえ、引き続き、ウェルビーイング向上の観点からも同事業を推進したい。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
水田営農推進事業	農林水産課	○	農林行政協力員の協力を得ながら、各集落に各種交付金制度の周知を図り、農家の経営強化に努めた。
担い手育成支援事業	農林水産課	○	中心経営体に対する農業用機械の購入費用や新規就農者に対する経営開始資金等の補助金を通じて、担い手の育成を図った。

■施策評価シート 18-01-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
農業者年金運営事業	農業委員会事務局
環境保全型農業支援事業	農林水産課
畜産振興対策事業	農林水産課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
26	暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる	実数	3.6	3.7			
		偏差値	56.4	58.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】								備考
客観指標No. (令和7年度)	44							

■施策評価シート

18-01-③

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	農林水産
基本方針	農業の振興		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	18-01-③	施策名	「農」を通じたつながりの拡大	

施策の概要

草津市産農産物の消費・活用拡大のために様々な主体が連携・協働するとともに、市民が「農」や農産物の「魅力」や「良さ」、農地の持つ「多面的な機能」への理解と共感を深めることで「農」を通じたつながりの拡大に努めます。

成果指標(単位)	地元の農産物を購入しよう心がけている市民の割合(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	55	55	57.5	57.5
実績値	40.3	37.7			

成果指標実績に対するコメント

令和7年度も「草津ブランド市」や「草津あおばなフェスタ」、湖南農業高校と連携した「次世代マルシェ」などのイベントを開催し、草津の農産物のPRIに努めたが、令和6年度よりも2.6ポイント減少し、目標値である55%には17.3ポイント不足し、目標値未達となった。

施策の達成度評価

道の駅草津やあおばな館での草津市産農産物の販売拡大等を通じて地産地消の取組を進めるとともに、関係機関が連携してイベント等での草津の農産物のPRIに努めた。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」「No.26 暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる」があり、共に昨年度偏差値を上回る結果であった。こうした偏差値の上昇も踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き同事業を推進したい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

資材高騰の影響による価格上昇などにより消費者の購買行動等が変化するなかでも、草津の農産物のPRIに努めるとともに、道の駅草津やあおばな館での草津市産農産物の販売拡大等を通じて、地産地消の取組を進めていく。

当該施策は、農地の保全や生産基盤の強化だけでなく「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」「No.26 暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる」といったウェルビーイング向上にも資する取り組みであると考えており、こうした上昇傾向を踏まえ、引き続き、ウェルビーイング向上の観点からも同事業を推進したい。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
「道の駅草津」管理運営事業	農林水産課	○	農業振興の拠点施設として、適切に管理運営を行い、地場産物の販売拡大に努めた。
草津ブランド力強化事業	農林水産課	○	草津あおばな会と連携し、あおばなの普及啓発の取組を進めた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
農業振興対策事務(たんぼのこ体験事業)	農林水産課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
		偏差値	55.2	57.9			
26	暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる	実数	3.6	3.7			
		偏差値	56.4	58.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)									

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	農林水産
基本方針	水産業の振興		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	18-02-①	施策名	漁業環境の保全・確保	

施策の概要
漁港の適正な管理を行い、漁業環境の保全・確保に努めます。

成果指標(単位)	漁獲量(kg)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	14,507	14,507	14,507	14,507
実績値	14,507	8,842			

成果指標実績に対するコメント
令和7年度の漁獲量実績は8,842kgとなり、令和6年度より5,665kg減少し、目標値を達成することができなかった。

施策の達成度評価
琵琶湖の環境変化による栄養悪化などが生じたことに加え、漁業者の減少および高齢化に伴う担い手不足が影響し、成果指標の目標値を達成することはできなかった。こうした厳しい状況下ではあるが、指定管理者による適切な漁港管理を継続するとともに、琵琶湖一斉清掃や水産多面的機能発揮対策事業による水草除去など、漁場環境の保全活動を通じて、在来魚が生育しやすい環境づくりに努めた。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.26 暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる」があり、昨年度偏差値を上回る結果であった(上昇率は2.1ポイント)。こうした偏差値の上昇も踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き同事業を推進したい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
引き続き、指定管理者による適切な漁港管理を行うとともに、琵琶湖一斉清掃や水産多面的機能発揮対策事業による水草除去といった漁場環境の保全活動を推進する。あわせて、漁業者の減少・高齢化が進行する中でも持続可能な保全活動が維持できるよう、将来的な漁港のあり方について、関係機関等と協議を進める。
当該施策は、漁業環境の保全・確保だけでなく「No.26暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる」といったウェルビーイング向上にも資する取り組みであると考えており、こうした上昇傾向を踏まえ、引き続き、ウェルビーイング向上の観点からも同事業を推進したい。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
漁港管理事業	農林水産課	○	指定管理者による適切な漁港管理を行うことができた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
26	暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる	実数	3.6	3.7			
		偏差値	56.4	58.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)		44							

■ 施策評価シート 18-02-②

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	農林水産
基本方針	水産業の振興		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	18-02-②	施策名	漁業・水産資源の多面的利活用の促進	

施策の概要
水産まつりでの体験型イベントの開催など、水産資源の魅力発信による地場産物の消費拡大や、着地型観光などによる漁港の利活用に努めます。

成果指標(単位)	水産まつりにおける体験型イベントへの参加者数				
	令和6年度 (※基準値)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値		800	800	800	800
実績値	400	700			

成果指標実績に対するコメント
令和7年度のイベント参加者数は、700人であり、令和6年度より300名増加したものの、目標値を達成することができなかった。

施策の達成度評価
関係各所に草津水産まつりの紹介を行い、幅広く水産の振興を図った。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.26暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる」があり、昨年度偏差値を上回る結果であった(上昇率は2.1ポイント)。こうした偏差値の上昇も踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き同事業を推進したい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
関係機関との協議を行い、今後の漁港の利活用や地場産物の消費拡大や水産振興を図る。
当該施策は、漁業・水産資源の多面的利活用の促進「No.26暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる」といったウェルビーイング向上にも資する取り組みであると考えており、こうした上昇傾向を踏まえ、引き続き、ウェルビーイング向上の観点からも同事業を推進したい。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
水産振興協議会活動補助事業	農林水産課	○	草津市水産振興協議会に対する補助金の交付により、水産振興を図った。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
26	暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる	実数	3.6	3.7			
		偏差値	56.4	58.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)									

19.商工観光に関する施策

■ 施策評価シート 19-01-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	商工観光
基本方針	中心市街地の活性化		基本方針に関連するSDGsの目標	 
施策番号	19-01-①	施策名	中心市街地のにぎわいの創出	

施策の概要
中心市街地エリアの商業の活性化を図るため、官民が参画するエリアマネジメント組織が中心となり、官民が連携したイベント実施や新規出店の促進等により、にぎわいの創出に取り組みます。

成果指標(単位)	買物をする環境が整っていると感じる市民の割合(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	76.7	77.3	77.9	78.5
実績値	76.1	75.9			

成果指標実績に対するコメント
市民意識調査の結果、「買い物をする環境が整っていると感じる市民の割合」は、前年度に比べ0.2ポイント下降し、目標値を達成することができなかった。駅前商業施設が立地する地域では評価が高い一方で、郊外地域では相対的に評価が低かった。このことから、徒歩アクセスの利便性が買物をする環境への評価につながっている一方で、郊外地域から中心市街地へのアクセス性などから、郊外地域住民からの実感は薄く、満足度が低くなっていると考えられる。

施策の達成度評価
「くさつまちなかエリアプラットフォーム」を通じ、駅周辺大規模商業施設や商店街等と協力しながら官民連携での集客にむけた取り組みを実施し、まちなかの魅力向上に寄与した。一方で、空き家・空き店舗の活用では出店したい方はいるものの空き店舗の所有者とのマッチングにつながらなかった。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標においては、「No.7 暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない」と「No.22 私の暮らしている地域は、自分にとって心地よい」の2項目で偏差値70を上回り、まちなかの商業施設については充足していると評価している。一方で、「No.12 私の暮らしている地域では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる」の項目については偏差値51.4と、公共交通機関でのまちなかへのアクセス性が、まちなかの買い物環境への満足度を押し下げていると考えられる。

評価に基づいた令和9年度の実績についての考え方
草津まちづくり株式会社やくさつまちなかエリアプラットフォームと官民一体の実績を行うことで商業環境の充足を図り、まちなかの魅力向上を推進する。 出店希望者と空き店舗の所有者とのマッチングする仕組みを検討し、店舗の誘導を図る。
「No.7 暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない」と「No.22 私の暮らしている地域は、自分にとって心地よい」の2項目を維持できるようまちなかの魅力向上を図る。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
中心市街地活性化推進事業(商工費)	都市地域戦略課	△	草津まちづくり株式会社やくさつまちなかエリアプラットフォームとともに官民が連携しまちなかの魅力向上に寄与した一方で、魅力店舗誘致事業については空き店舗の所有者とのマッチングにつながらず、誘致にいたらなかったため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についての記載しています。

■施策評価シート

19-01-①

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】											
主観指標項目		区分	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度
7	暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない	実数	4.1		4.1						
		偏差値	69.9		72.6						
8	私の暮らしている地域では、飲食を楽しめる場所が充実している	実数	3.5		3.6						
		偏差値	60.9		66.4						
12	私の暮らしている地域では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる	実数	3.1		3.2						
		偏差値	49.7		51.4						
13	私の暮らしている地域には、楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある	実数	2.8		3.0						
		偏差値	54.3		58.6						
22	暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい	実数	3.7		3.8						
		偏差値	68.0		71.2						
23	私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある	実数	3.8		3.8						
		偏差値	65.4		68.3						
31	私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である	実数	3.3		3.4						
		偏差値	55.4		60.3						
36	私は、この町内(集落)に対して愛着を持っている	実数	3.3		3.3						
		偏差値	66.6		68.6						
37	この町内(集落)には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	実数	2.9		2.9						
		偏差値	57.7		58.4						

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】										備考
客観指標No. (令和7年度)		9	10	11	20	41	77	79	90	

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	商工観光
基本方針	商業の振興		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	19-02-①	施策名	地域商業の活性化	

施策の概要

地域の商業を活性化させるために、草津商工会議所をはじめ地域経済団体や関係団体と連携しながら、商業の振興や草津ブランドの育成等を図ります。

成果指標(単位)	買物する環境が整っていると思う市民の割合(%)				
	令和6年度 (※基準値)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値		76.7	77.3	77.9	78.5
実績値	76.1	75.9			

成果指標実績に対するコメント

成果指標の実績値は、依然として高い水準で推移しているが、全国的な経済情勢の変化や物価高騰等により、買物の際の満足感が低下していることが考えられ、その影響により成果指標の目標値を下回ったと考える。

施策の達成度評価

草津商工会議所をはじめとする地域経済団体や関係団体と連携したくさつ華あかりフェスタやみなくさまつりなどの実施および草津ブランド認証品の拡大や草津ブランド認証品を用いた新商品の誕生などにより地域商業の活性化を図った。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、偏差値が高い順に「No.7 暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない」「No.8 私の暮らしている地域では、飲食を楽しめる場所が充実している」「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」「No.49 私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある」「No.48 私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい」があり、いずれも偏差値が50を上回る結果であった。こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、より効果的な取組となるよう、草津商工会議所をはじめとする地域経済団体や関係団体との連携を図り、各種取組を推進していく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

草津商工会議所や草津市商店街連盟などの地域に根差した地域経済団体などとの連携を図りながら、消費者の購買行動の機運醸成に繋がる地域イベント等の支援をはじめとして、引き続き、地域商業の活性化を推進する。また、草津ブランド認証品をはじめとした市内の特産品等の啓発や民間事業者や大学等と連携した新商品の開発など、事業者等と連携し、販路開拓および新たな商品開発を行える環境づくりに努める。

草津商工会議所をはじめとする地域経済団体や関係団体との連携を通じた各種取組は、「No.7 暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない」「No.8 私の暮らしている地域では、飲食を楽しめる場所が充実している」「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」「No.48 私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい」「No.49 私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある」といった指標において、高い水準であり、ウェルビーイング向上にも資する取組であることから、ウェルビーイング向上の観点からも、継続して取組を推進していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
商工団体等活動費補助事業	商工観光労政課	○	草津商工会議所をはじめとした商工団体や地域商業の活性化を図ることのできる事業への支援を行うことで、市内商業の活性化を図ることができたため。
商店街活性化推進事業	商工観光労政課	○	くさつ華あかりフェスタの開催への支援やくさつ夢本陣の運営を行うことで商店街等の活性化を図ることができたため。
草津ブランド強化事業	商工観光労政課	○	草津ブランド認証品の拡大や事業者と連携した新商品の開発、啓発イベントの開催など、市内産業の活性化と本市のPRを図ることができたため。

■施策評価シート19-02-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
商工業事務	商工観光労政課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
7	暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない	実数	4.1	4.1			
		偏差値	69.9	72.6			
8	私の暮らしている地域では、飲食を楽しめる場所が充実している	実数	3.5	3.6			
		偏差値	60.9	66.4			
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
		偏差値	55.2	57.9			
48	私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい	実数	2.8	2.8			
		偏差値	55.6	56.1			
49	私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある	実数	2.9	2.9			
		偏差値	54.9	56.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)		9	10	11	120	122			

■ 施策評価シート 19-03-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	商工観光
基本方針	工業の振興		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	19-03-①	施策名	新産業の創出と中小企業等への支援	

施策の概要
くさつビズサポやインキュベーション施設などの支援機関等の活用や、産学官金の連携のさらなる強化により、新たな産業の創出を促進するとともに、中小企業等への企業訪問等を通じ、ビジネスマッチングなど、ニーズに応じた支援を行います。

成果指標(単位)	くさつビズサポの支援を受けて創業した数(人)				
	令和6年度 (※基準値)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値		24	26	28	30
実績値	22	9			

成果指標実績に対するコメント
創業に係る相談支援については、令和6年度と同程度の53者に支援を行ったが、近年の物価高騰や金利上昇等の影響で、創業を延期されるケースが多かったことから、結果的に目標値を下回る結果となった。しかし、創業準備中の事業者もいることから、くさつビズサポにおいて継続して支援を行い、創業者数の増加を目指す。

施策の達成度評価
くさつビズサポの支援を受けて創業した数は目標値を下回ったものの、創業希望者・事業者等からの相談支援の実績は、昨年度と同程度の実績であったことから、くさつビズサポの相談支援には一定の成果があったものとする。引き続き、創業や創業後の支援や事業者同士の交流機会の創出、市ホームページや草津市事業者支援制度一覧(リーフレット)で本施策について周知に務める。
関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.48 私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい」「No.49 私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある」「No.50 暮らしている地域には、新たな事に挑戦・成長するための機会がある」があり、いずれも偏差値が50を上回る結果であった。新産業の創出と中小企業への支援等を行うことで、新たな産業への促進により、こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、より効果的な取組となるよう、各種施策を推進していく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
引き続き、創業希望者・事業者等からの相談や支援等や支援機関等の活用を図りながら、企業のニーズに応じた支援・サポートに取り組む。
支援機関等の活用や産学官金の連携への支援に対する取組は、新たな産業の創出だけでなく、「No.48 私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい」「No.49 私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある」「No.50 暮らしている地域には、新たな事に挑戦・成長するための機会がある」といった指標において、高い水準であり、ウェルビーイング向上にも資する取組であることから、ウェルビーイング向上の観点からも、継続して取組を推進していく。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
ビジネスサポート推進事業	商工観光労政課	○	目標値を下回る実績(9人)となったものの、事業者同士の交流機会の創出等、事業者支援の一定の成果はあったため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】									
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
48	私の暮らしている地域では、やりがい仕事を見つけやすい	実数	2.8	2.8					
		偏差値	55.6	56.1					
49	私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある	実数	2.9	2.9					
		偏差値	54.9	56.5					
50	暮らしている地域には、新たな事に挑戦・成長するための機会がある	実数	2.8	2.9					
		偏差値	54.4	57.1					

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)	120	121	122	124	125	126	127		

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	商工観光
基本方針	工業の振興		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	19-03-②	施策名	企業の立地促進	

施策の概要

本市の企業立地の優位性を生かすため、企業誘致の立地適地の創出に向けた調査を実施し、新たな企業立地を推進します。

成果指標(単位)	企業立地促進助成事業者として指定決定を行った件数(件)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	3	3	3	3
実績値	3	1			

成果指標実績に対するコメント

指定決定件数は1件であるものの、市内における企業の立地・集積を促進するため、草津イノベーションコーディネータ(略称:KIC)による企業訪問活動や市ホームページ等を通じて情報発信を行った結果、一定の成果があったものとする。

施策の達成度評価

目標値には至らなかったものの、指定決定を行うことができ、一定の成果があったものとするが、市内の企業立地適地が不足している状況を踏まえ、都市計画マスタープランに基づく産業振興区域において、計画的な土地利用を図ることを目的に、「草津市産業用地創出に向けた具体的な取組」を取りまとめたことから、当該取組に基づき、高付加価値を生み出す産業用地集積エリアの形成に向けて事業を進めていく必要がある。

関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.48 私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい」「No.49 私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある」とあり、いずれも偏差値が50を上回る結果であった。企業誘致の立地適地の創出に向けた調査を実施することで、新たな企業立地への促進により、こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、より効果的な取組となるよう、各種施策を推進していく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

市内に工業系用途地域の未利用地が少なく、工場や研究所等の新たな立地適地が限られた状況となっていることから、高付加価値を生み出す産業集積エリアの形成に向けて、農業施策との調整を踏まえつつ、都市計画マスタープランに基づく産業振興区域である御倉町外地先において、令和8年度に実施予定の「産業集積エリア整備計画検討業務」にて、地権者へのアンケート調査を行い、産業用地の創出の可能性を探ったうえで、適正な開発手法にて産業用地開発を進めていく。

企業誘致の立地適地の創出に向けた調査に対する取組は、「No.48 私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい」「No.49 私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある」といった指標において、高い水準であり、ウェルビーイング向上にも資する取組であることから、ウェルビーイング向上の観点からも、継続して取組を推進していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
企業立地推進事業	商工観光労政課	○	目標値達成には至らなかった(1件)ものの、工場立地等の相談を受けていることから、一定の成果はあったと言えるため。
企業立地推進事業	企業立地推進室	○	計画的な土地利用を図ることを目的に、「草津市産業用地創出に向けた具体的な取組」を取りまとめることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
産業振興審議会運営事業	商工観光労政課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
48	私の暮らしている地域では、やりがい仕事を見つけやすい	実数	2.8	2.8			
		偏差値	55.6	56.1			
49	私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある	実数	2.9	2.9			
		偏差値	54.9	56.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)		120	122						

■施策評価シート

19-04-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	商工観光
基本方針	観光の振興		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	19-04-①	施策名	地域観光の活性化	

施策の概要

地域の観光を活性化させるために、観光事業者、(一社)草津市観光物産協会、関係団体等と連携しながら、地域の特性を生かした魅力ある観光事業を展開します。

成果指標(単位)	観光入込客数(人)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	2,908,000	2,937,000	2,966,000	2,996,000
実績値	2,879,019	3,040,180			

成果指標実績に対するコメント

国スポ・障スポの開催、観光入込客数が多い草津川跡地公園内でのイベントの充実、市内まつりの来場者数が増加したことが目標値達成の要因であり、今後も引き続き、(一社)草津市観光物産協会などの関係団体と連携し、観光振興へ向けた取組を進める。

施策の達成度評価

(一社)草津市観光物産協会や草津市観光ボランティアガイド協会などの関係団体と連携を図りながら、地域の特性を生かした観光事業を実施することで、本市の観光振興を推進することができた。

関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」「No.36 私は、この町内(集落)に対して愛着を持っている」「No.48 私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい」「No.49 私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある」があり、いずれも偏差値が50を上回る結果であった。こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、(一社)草津市観光物産協会などの関係団体と連携し、観光振興へ向けた取組を進めていく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

着地型観光事業等を通して新たな観光資源の発掘や磨き上げ、SNSやHPでの情報発信を積極的に行い、引き続き観光振興に努める。また、令和9年度の滋賀デスティネーションキャンペーンの開催に向け、草津市観光物産協会や草津市観光ボランティアガイド協会との連携を強化し、本市の特性を活かした魅力ある環境づくりと効果的な観光誘客に取り組んでいく。

(一社)草津市観光物産協会をはじめとする関係団体との連携を通じた各種取組は、「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」「No.36 私は、この町内(集落)に対して愛着を持っている」「No.48 私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい」「No.49 私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある」といった指標において、高い水準であり、ウェルビーイング向上にも資する取組であると考えことから、ウェルビーイング向上の観点からも、継続して取組を推進していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
観光物産協会観光振興活動費補助事業	商工観光労政課	○	(一社)草津市観光物産協会への支援を通じて、地域観光資源推進事業や着地型観光事業などを実施し、本市の観光振興を推進したため。
宿場まつり開催費補助事業	商工観光労政課	○	第57回草津宿場まつりでは、6年ぶりに市役所エリアを復活させたほか、新たに和装パレードを実施する等、幅広い世代が楽しめる工夫を行った結果、前年度を上回る70,000人の来場者数があったため。
観光宣伝事業	商工観光労政課	○	草津市を訪れる方々に対し、観光案内を行うことで、本市の魅力発信を行うことが出来たため。

■施策評価シート 19-04-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
烏丸半島維持管理事業	公園緑地課
観光振興事務	商工観光労政課
広域観光事業	商工観光労政課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】													
主観指標項目		区分	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1		3.2								
		偏差値	55.2		57.9								
36	私は、この町内(集落)に対して愛着を持っている	実数	3.3		3.3								
		偏差値	66.6		68.6								
48	私の暮らしている地域では、やりがい仕事を見つけやすい	実数	2.8		2.8								
		偏差値	55.6		56.1								
49	私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある	実数	2.9		2.9								
		偏差値	54.9		56.5								
関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】												備考	
客観指標No. (令和7年度)			85	120	122								

■施策評価シート

19-05-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	商工観光
基本方針	勤労者福祉の向上		基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	19-05-①	施策名	勤労者への支援	

施策の概要

勤労者福祉の向上を図るため、「草津市勤労者福祉基本方針」に基づき働き方改革に取り組みながら、勤労者の福祉の増進に向けた支援を図ります。

成果指標(単位)	働きやすい労働環境であると感じる市民の割合(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	34.9	35.7	36.5	37.3
実績値	34.1	32.4			

成果指標実績に対するコメント

補助金を交付している各勤労福祉団体で補助助成事業を数多く展開されたものの、物価高騰に賃金の引き上げが追いついておらず、金銭的な生活負担の増加により、目標値に届かなかったものと考えられる。

施策の達成度評価

草津市勤労者福祉サービスセンターおよび草津・栗東地区労働者福祉協議会が実施する勤労者福祉事業に対する支援を行った結果、各団体において福利厚生事業を展開し、勤労者福祉の向上を図った。

関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」「No.48 私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい」「No.49 私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある」があり、いずれも偏差値が50を上回る結果であった。勤労者福祉団体への支援等を行うことで、勤労者の福祉の増進に向けた支援の促進により、こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、より効果的な取組となるよう、各種施策を推進していく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

引き続き勤労者福祉団体への補助金を交付し、勤労者福祉の向上に資する取組を支援する。

勤労者福祉団体への支援に対する取組は、勤労者福祉の向上だけでなく、「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」「No.48 私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい」「No.49 私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある」といった指標において、高い水準であり、ウェルビーイング向上にも資する取組であることから、ウェルビーイング向上の観点からも、継続して取組を推進していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
勤労者福祉団体育成事業	商工観光労政課	○	利用者数は増加しており、各種団体の勤労者福祉の向上を図ることができたため。
市民交流プラザ運営事業	商工観光労政課	○	安全安心な施設の運営に努め、市民活動や各種団体の活動支援ができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
市民交流プラザ施設維持管理事業	商工観光労政課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】											
主観指標項目		区分	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1		3.2						
		偏差値	55.2		57.9						
48	私の暮らしている地域では、やりがい仕事を見つけやすい	実数	2.8		2.8						
		偏差値	55.6		56.1						
49	私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある	実数	2.9		2.9						
		偏差値	54.9		56.5						
関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】											
客観指標No. (令和7年度)			115	116	117	118	119	120	122		備考

20.都市形成に関する施策

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	都市形成
基本方針	都市と住環境の質・魅力向上		基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	20-01-①	施策名	土地利用の適切な誘導	

施策の概要
都市計画法等に基づく指導等を行うことにより、土地利用の適切な誘導を図ります。

成果指標(単位)	「都市と住環境の質・魅力向上」に満足している市民の割合(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	22.0	23.0	24.0	25.0
実績値	21.0	23.0			

成果指標実績に対するコメント
市民意識調査の結果、「都市と住環境の質・魅力向上」に満足している市民の割合は、前年度に比べ2ポイント増加し、目標値を達成することができた。開発審査等の手続きを適正に進め、草津市都市計画マスタープランおよび立地適正化計画に基づいた適切な土地利用の誘導を図った結果、都市と住環境の質や魅力に対する市民の一定の評価が表れたものとする。

施策の達成度評価
法令に基づき一定規模以上の土地の売買にかかる届出事務を行うことで、適正かつ合理的な土地利用の確保・誘導を図ることができた。また、草津市開発行為の手続きおよび基準等に関する条例、規則などに則った開発審査事務を行うことで、良好な住環境の確保と調和のとれた土地利用がなされるよう努めることができた。引き続き、法令等に則って適正に届出や申請がなされるよう周知していく必要がある。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、偏差値が高い順に「No.9自宅には、心地のいい居場所がある」「No.10【逆】自宅の近辺では、騒音に悩まされている<回答の点数が逆転>」「No.11私の暮らしている地域では、適度な費用で住居を確保できる」があり、No.9は偏差値が80と非常に高いが、No.10、No.11は偏差値が50を下回る結果であった。適切な土地利用の誘導を図り、魅力ある都市づくりを進めており、都市化による騒音等の問題や土地価格の上昇については、当該施策のみではコントロールできないが、引き続き、法令等に則った開発審査事務を行い、良好な住環境の確保に努めていく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
引き続き、土地取引にかかる届出事務や開発審査事務などを通じて、適正かつ合理的な土地利用の確保・誘導および良好な住環境の確保と調和のとれた土地利用に努め、住み続けたいと思える都市づくりを進めていく。
適正かつ合理的な土地利用の確保・誘導および良好な住環境の確保と調和のとれた土地利用に努めることは「No.9自宅には、心地のいい居場所がある」「No.10【逆】自宅の近辺では、騒音に悩まされている<回答の点数が逆転>」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、ウェルビーイング向上の観点からも、土地取引にかかる届出事務や開発審査事務を引き続き実施していく。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
土地取引届出勧告事務	都市計画課	○	国土利用計画法の届出制度は、適正かつ合理的な土地利用の確保を図るため、一定規模以上の土地取引について、取引段階での審査を行うものであり、令和7年度は15件の届出について、内容確認および県への経由事務を適正に行うことができた。
開発審査事務	開発調整課	○	開発行為許可申請に対して、草津市開発行為の手続きおよび基準等に関する条例、規則等に則しているかを審査した。それらを経て、令和7年度においては80件の開発行為を許可し、良好な環境の確保と調和のとれた土地利用がなされるよう努めることができた。

■施策評価シート 20-01-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
特定旅館建築規制事務	建築政策課
土地区画整理事業	都市計画課
地籍調査事業	土木管理課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
9	自宅には、心地のいい居場所がある	実数	4.1	4.2			
		偏差値	80.0	80.0			
10	【逆】自宅の近辺では、騒音に悩まされている<回答の点数が逆転>	実数	3.5	3.5			
		偏差値	51.3	49.8			
11	私の暮らしている地域では、適度な費用で住居を確保できる	実数	3.0	3.1			
		偏差値	44.0	46.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)		12	13	14	15				

■施策評価シート

20-01-②

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	都市形成
基本方針	都市と住環境の質・魅力向上		基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	20-01-②	施策名	良質な住宅資産の形成	

施策の概要

長期優良住宅等の良質で安全な新築住宅の供給を促進するとともに、既存住宅の適切な維持管理やリフォームの促進に加え、空き家の適正管理や有効活用の促進、分譲マンションの管理適正化の推進等により、次世代にも継承される住宅資産への転換を進め、良質な住宅の安定供給・有効活用を図ります。

成果指標(単位)	住宅地などの住まいの環境がよいと感じている市民の割合(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	72.4	72.6	72.8	73
実績値	72.2	69.1			

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査の結果、「住宅地などの住まいの環境がよいと感じている市民の割合」は、前年度に比べ3.1ポイント減少し、目標値を達成することができなかったが、高い水準は維持できている。
このことは、長期優良住宅等の推進や分譲マンションの管理適正化の推進等を図った結果、市内の良質な住宅資産の形成を実感できていることが要因と考える。

施策の達成度評価

分譲マンションや空き家の管理適正化にかかる新たな取組を進めた結果、機運の醸成が図られ、各種制度等の利用促進につながった。引き続き、良質な住宅資産の形成に向けて、長期優良住宅の促進や分譲マンションや空き家等の適正管理の推進等に取り組んでいきたい。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標について、「No.9 自宅には心地のいい場所がある」や「No.30 私の暮らしている地域は、防犯対策が整っており、治安がよい」は高い評価を得ている。このことは、これまでの各種取組が、市民生活に実感として表れているものと評価できるため、引き続き、各種取組の推進を図りたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

より実効性のある取組としていくため、見直し、改善等を図りながら、各種取組を推進していく。

長期優良住宅等の推進や分譲マンションの管理適正化の推進等を通じて、「No.9 自宅には心地のいい場所がある」といったウェルビーイング向上に資する指標がとても高い水準で評価されていることから、引き続き、当該取組を進めていくとともに、「No.11 私の暮らしている地域では、適度な費用で住居を確保できる」といった指標の向上に向けて、居住支援や空き家の利活用等の住宅政策を関係機関等と連携しながら、取り組んでいく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
建築物等確認事務	建築政策課	○	関係法令に基づく建築確認や指導等を通じて、建築規制の実効性を図ることができた。
住宅政策推進事業	建築政策課	○	空き家や分譲マンションの適正管理に向けた適切な支援を図ることで、地域の住環境の向上を図ることができた。

■施策評価シート20-01-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
改良住宅譲渡推進事業	市営住宅課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】										
主観指標項目		区分	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度	令和10年度
9	自宅には、心地のいい居場所がある	実数	4.1		4.2					
		偏差値	80.0		80.0					
10	【逆】自宅の近辺では、騒音に悩まされている<回答の点数が逆転>	実数	3.5		3.5					
		偏差値	51.3		49.8					
11	私の暮らしている地域では、適度な費用で住居を確保できる	実数	3.0		3.1					
		偏差値	44.0		46.0					
30	私の暮らしている地域は、防犯対策(交番・街燈・防犯カメラ・住民の見守り等)が整っており、治安がよい	実数	3.2		3.3					
		偏差値	58.8		61.8					
関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】										備考
客観指標No. (令和7年度)			12	13	14	15	79			

■施策評価シート

20-02-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	都市形成
基本方針	まちなかの魅力向上と地域再生の推進		基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	20-02-①	施策名	にぎわいのある市街地の形成	

施策の概要

市民がいいきと輝き、安心して暮らすことができるコンパクトでにぎわいあるまちを目指すため、公共空間の活用による都市魅力の構築、歴史的まちなみや地域資源の活用、交流の促進等により、歩いて暮らせるまちづくりを進めます。

成果指標(単位)	“まちなか”に魅力があると感じる市民の割合(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	43.4	45.1	46.8	47.5
実績値	41.7	43.5			

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査の結果、「“まちなか”に魅力があると感じる市民の割合」は目標値を達成した。「草津駅周辺エリア未来ビジョン」で描く風景を目指し、まちなかの滞在快適性を向上させるため、公共空間を活用したイベントや社会実験を継続的に行うなど、にぎわいを創出したことへの評価につながっていると考えられる。

施策の達成度評価

草津駅周辺のまちづくりの将来像を示した「草津駅周辺エリア未来ビジョン」で描いた将来像を目指し、草津まちづくり株式会社やくさつまちなかエリアプラットフォームとともに官民連携のまちづくりを行うことでまちなかの魅力向上に寄与した。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標においては、「No.7 暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない」と「No.22 私の暮らしている地域は、自分にとって心地よい」の2項目で偏差値70を上回り、まちなかの魅力を市民が実感していると考えられる。
また、「No.23 私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」の項目の偏差値68.3についてはまちなかの公共空間が滞在しやすい快適な場所として住民に認知いただき、評価を得ていると考えられる。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

草津まちづくり株式会社やくさつまちなかエリアプラットフォームを中心に官民で協議・連携しながら、各種の施策を推進し、まちなかの魅力向上を図る。

「No.7 暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない」と「No.22 私の暮らしている地域は、自分にとって心地よい」の2項目を維持できるようまちなかの魅力向上を図る。
また、さらに公共空間でのイベントや社会実験を通して滞在快適性の向上を推進することで、「No.23 私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」の項目の向上を図る。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
中心市街地活性化推進事業(土木費)	都市地域戦略課	○	「草津駅周辺エリア未来ビジョン」を推進し、草津駅周辺のまちづくりについてデザイン会議の開催やイベントの実施を行うことでまちなかの魅力向上に寄与することができたため。
アーバンデザインセンター活動事業	都市地域戦略課	○	アーバンデザインセンターみなくさ活動支援補助金を交付することで、南草津駅周辺の都市価値向上を目指し産学公民の共創による官民連携のまちづくりを推進する「アーバンデザインセンターみなくさ」の設立等を支援することができたため。
都市計画推進事業	都市計画課	○	草津市都市計画マスタープラン等に基づき、各種事業を実施した結果、コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりを推進することができたため。

■施策評価シート 20-02-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
市街地街づくり推進事業	都市地域戦略課
都市計画推進事業	都市地域戦略課
都市計画審議会運営事務	都市計画課
都市計画推進事務	都市計画課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】												
主観指標項目		区分	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
7	暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない	実数	4.1		4.1							
		偏差値	69.9		72.6							
8	私の暮らしている地域では、飲食を楽しめる場所が充実している	実数	3.5		3.6							
		偏差値	60.9		66.4							
12	私の暮らしている地域では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる	実数	3.1		3.2							
		偏差値	49.7		51.4							
13	私の暮らしている地域には、楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある	実数	2.8		3.0							
		偏差値	54.3		58.6							
22	暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい	実数	3.7		3.8							
		偏差値	68.0		71.2							
23	私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある	実数	3.8		3.8							
		偏差値	65.4		68.3							
29	私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている	実数	3.2		3.3							
		偏差値	62.6		66.0							
31	私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である	実数	3.3		3.4							
		偏差値	55.4		60.3							
36	私は、この町内(集落)に対して愛着を持っている	実数	3.3		3.3							
		偏差値	66.6		68.6							
37	この町内(集落)には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	実数	2.9		2.9							
		偏差値	57.7		58.4							

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】										備考		
客観指標No. (令和7年度)			9	10	11	16	20	41	75	77		
			79	84	90							

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	都市形成
基本方針	まちなかの魅力向上と地域再生の推進		基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	20-02-②	施策名	地域の特性と資源を活かした地域再生の推進	

施策の概要
新たな交流の創出、生活機能の確保や産業の振興等、さらなる活性化を図るため、郊外部における地域の特性と資源を活かします。

成果指標(単位)	「まちなかの魅力向上と地域再生の推進」に満足している市民の割合(%) (志津・老上西・山田・笠縫・笠縫東・常盤学区)				
	令和6年度 (※基準値)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値		18.3	19.3	20.3	21.3
実績値	17.3	17.4			

成果指標実績に対するコメント
市民意識調査の結果、「まちなかの魅力向上と地域再生の推進に満足している市民の割合(志津・老上西・山田・笠縫・笠縫東・常盤学区)」は17.4%と目標値を下回った。また、学区ごとの満足度においても老上西・山田・笠縫・常盤学区の4つの学区において目標値に届かない結果となった。これは草津市版地域再生計画に基づくまちづくりプランを推進しているが、生活拠点や交通拠点の形成が完了していない地域があり、住民の生活実感として満足度の向上にいたらなかったと考えられる。

施策の達成度評価
まちづくりプランの更新を志津・笠縫・老上西学区で行ったが、まちづくりプランの推進状況については学区ごとに進捗にばらつきがある。山田・笠縫学区においては、生活・交通拠点の形成が完了しておらず、そのため、住民の実感として満足度の向上につながらなかったと考えている。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標においては、「No.5 暮らしている地域は、医療機能が充実している」と「No.7 暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない」の2項目で偏差値70を上回っているものの、市民意識調査との乖離が見られる。これは地域幸福度調査が市全域で行われたため、郊外区域の課題が見えにくく、生活の実態とギャップがあるからではないかと考えられる。また、「No.12 私の暮らしている地域では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる」の項目についても偏差値51.4となっており、公共交通のあり方についても、引き続き地域との議論が必要だと考えられる。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
各学区がまちづくりプランに基づく取組をこれまで進めてきた結果、課題を解決しながら、地域再生の推進が図られた。引き続き、地域と行政が協働して取組が円滑に行える体制づくりを行い、まちづくりプランの改訂や推進を行うなかで、これまでの成果や課題、地域の将来像を多くの住民と共有できる場を設け、地域再生の取組を住民に実感してもらえるように努める。
草津市版地域再生計画における生活拠点形成の取組を推進することで「No.5 暮らしている地域は、医療機能が充実している」と「No.7 暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない」の満足度を郊外区域の底上げすることにより引き上げる 草津市版地域再生計画の取り組みは生活拠点の形成だけでなく、効率的な公共交通ネットワークの形成を図っており、「No.12 私の暮らしている地域では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる」を引き上げ、ウィルビーイングの向上の観点からも交通拠点の形成やコミュニティバスの再編等の取組を地域と共に推進する。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
地域再生推進事業	都市地域戦略課	△	笠縫東学区において令和7年度実施予定だったまちづくりプランの改訂を次年度に行うこととしたため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート20-02-②

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
5	暮らしている地域は、医療機関が充実している	実数	3.9	4.0			
		偏差値	69.7	73.3			
6	私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい	実数	3.4	3.4			
		偏差値	58.0	63.0			
7	暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない	実数	4.1	4.1			
		偏差値	69.9	72.6			
12	私の暮らしている地域では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる	実数	3.1	3.2			
		偏差値	49.7	51.4			
36	私は、この町内(集落)に対して愛着を持っている	実数	3.3	3.3			
		偏差値	66.6	68.6			
37	この町内(集落)には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	実数	2.9	2.9			
		偏差値	57.7	58.4			
49	私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある	実数	2.9	2.9			
		偏差値	54.9	56.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】								備考
客観指標No. (令和7年度)	1	5	9	16	84	120		

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	都市形成
基本方針	良好な景観の保全と創出		基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	20-03-①	施策名	自然的・歴史的景観の保全と活用、都市景観の形成	

施策の概要
豊かな自然景観や歴史文化の薫るまちなみの保全・活用、心地よさを感じる都市景観の創出に取り組み、ふるさと草津の心を育む景観形成を図ります。

成果指標(単位)	「まちの景観に好感が持てる」市民の割合(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	38.4	39.3	40.2	41.1
実績値	37.5	40.4			

成果指標実績に対するコメント
市民意識調査の結果、まちの景観に好感が持てると思う市民の割合は、前年度に比べ2.9ポイント増加し、目標値を達成することができた。景観計画や屋外広告物条例に基づく指導、ファサード補助制度による歴史まちなみ景観への誘導支援に加え、大津市との連携事業である「対岸眺望ポイントの設定」や「東海道統一案内看板の設置」など、琵琶湖の眺望景観や東海道の歴史景観の保全・活用に係る施策等に対する市民の評価が現れたものとする。

施策の達成度評価
建築物および工作物等を規制することで、自然景観・歴史景観・都市景観の形成を進めることができた。また、景観形成重点地区における建物・工作物の新築・改修に係る経費を補助することで、歴史街道の景観形成に寄与することができた。景観形成を推進するため、引き続き建築物・工作物の規制および補助を行っていく必要がある。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、偏差値が高い順に「No.25 私の暮らしている地域には、自慢できる自然景観がある」「No.24 私の暮らしている地域には、自慢できる都市景観がある」があり、いずれも偏差値が50後半という結果であった。引き続き法令等に基づく指導・助言を行い、より良い景観の形成に努めていく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
建築物・工作物等の規制や自然景観・歴史景観・都市景観の保全・活用に係る施策を通して、住む人が自慢したくなるようなまちづくりを進めていく。
まちの景観を保全し、琵琶湖や歴史街道を活用した施策に取り組むことは「No.25 私の暮らしている地域には、自慢できる自然景観がある」「No.24 私の暮らしている地域には、自慢できる都市景観がある」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、ウェルビーイング向上の観点からも、規制に係る審査や指導、景観資源を活用した取組を継続して実施していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
屋外広告物管理事務	都市計画課	○	屋外広告物条例に基づき、掲出する屋外広告物に対し許可基準を設けており、令和7年度は866件の申請等(除却届を除く)について適正に審査を行い、まちの景観保全に寄与することができた。
景観を生かしたまちづくり推進事業	都市計画課	○	景観計画に基づき、建築物・工作物の新築・改修を行う際の基準を設けており、令和7年度は73件の届出について適正に審査を行い、まちの景観保全に寄与することができた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
24	私の暮らしている地域には、自慢できる都市景観がある	実数	3.1	3.1			
		偏差値	53.9	56.3			
25	私の暮らしている地域には、自慢できる自然景観がある	実数	3.3	3.4			
		偏差値	55.1	57.3			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】								備考
客観指標No. (令和7年度)		42	43					

21.公園・緑地に関する施策

■ 施策評価シート 21-01-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	公園・緑地
基本方針	ガーデンシティの推進		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	21-01-①	施策名	公園・緑地の整備	

施策の概要
みどりの基本計画に基づき、市民ニーズを踏まえた都市公園の整備を計画的に進めます。

成果指標(単位)	公園・緑地面積(ha)				
	令和6年度 (※基準値)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	94.9	95	97.6	97.7
実績値	94.7	95.0			

成果指標実績に対するコメント
住宅地開発に伴う公園設置の指導に伴い、児童遊園が増加したことから、公園・緑地面積が前年度比0.3ha増加し、目標を達成することができた。

施策の達成度評価
令和3年度に策定した「第3次草津しみどりの基本計画」に基づき各種事業を推進した結果、野路公園整備用地取得に向けた地権者交渉などについて、一定の成果が見られた。今後は、野路公園の整備に向けて地権者等と更なる調整を進める必要がある。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-being)指標は、偏差値が高い順に「No.22 暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい」「No.23 私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」となっており、いずれも偏差値が60を上回る結果であった。これは、みどりの基本計画に基づく各種事業を着実に進めたきた結果であり、引き続き、みどりの基本計画に基づき、都市公園の整備を計画的に進めていきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
市民ニーズを踏まえた都市公園の整備を計画的に進めるため、引き続き、野路公園について地権者との協議を行い、用地取得等を進めます。
都市公園の整備は、「No.22 暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい」「No.23 私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」といった指標に係るウェルビーイングの向上にも資するものであり、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、引き続き、野路公園整備事業等を実施していく。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
野路公園整備事業	公園緑地課	△	地域および地権者との協議を行い、一定の進捗を図ることができたが、用地取得には至らなかったため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】									
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
22	暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい	実数	3.7	3.8					
		偏差値	68.0	71.2					
23	私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある	実数	3.8	3.8					
		偏差値	65.4	68.3					

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)	38	39							

■施策評価シート

21-01-②

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	公園・緑地
基本方針	ガーデンシティの推進		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	21-01-②	施策名	公園・緑地の活用	

施策の概要

公園に対する市民ニーズの多様化に対応できるよう、市民参加による公園の再整備や維持管理、公園施設の計画的な改修、更新を行います。

成果指標(単位)	公園再整備箇所数(箇所/年)				
	令和6年度 (※基準値)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	3	3	3	3
実績値	3	8			

成果指標実績に対するコメント

市内の公園を計画的に再整備し、目標を達成するとともに、町内会からの要望等を踏まえ、公園の機能・役割について調整を重ね、市内の公園を再整備した結果、公園の利用環境向上に繋げることができたと思う。

施策の達成度評価

令和3年度に策定した「第3次草津市みどりの基本計画」に基づき、各種事業を推進した結果、公園再整備および維持管理に関する取組については、地元町内会の協力を得るなどの市民参加が実現でき、一定の効果が見られた。植栽や施設などの老朽化が目立つ公園施設については、引き続き、計画的な再整備を実施できるように検討する必要がある。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、偏差値が高い順に「No.22 暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい」「No.23 私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」となっており、No.22、23は偏差値が60を上回っており、No.19についても偏差値57.9と高い結果であった。これは、みどりの基本計画に基づく各種事業を着実に進めたきた結果であり、引き続き、計画的に公園の再整備を進めていきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

これまでに引き続き、計画的な再整備が必要であり、令和9年度は、地元要望を踏まえた市内公園の再整備工事を行うとともに、指定管理者制度を導入している施設については、安全・安心に利用していただけるように適切な維持管理を実施していく。

公園に対する市民ニーズへの対応は、「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」「No.22 暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい」「No.23 私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」といった指標に係るウェルビーイングの向上にも資するものであり、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、引き続き、計画的な公園の再整備を進めていく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
ロクハ公園運営事業	公園緑地課	○	適切な維持管理のもとで安全に公園運営を行うことができるなど、期待どおりの成果があったため。
児童公園等維持管理事業	公園緑地課	○	地元の町内会等の協力を得ながら、草刈り等の日常の公園維持管理を実施できたほか、計画的に公園の再整備を実施した結果、市民協働の公園維持管理ができ、期待どおりの成果があったため。
みずの森管理運営事業	公園緑地課	○	各種イベントや展示会等を計画的に実施するなど、期待どおりの成果があったため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
公園関係団体負担金事務	公園緑地課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】									
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2					
		偏差値	55.2	57.9					
22	暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい	実数	3.7	3.8					
		偏差値	68.0	71.2					
23	私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある	実数	3.8	3.8					
		偏差値	65.4	68.3					
関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									
客観指標No. (令和7年度)			33						備考

■施策評価シート

21-01-③

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	公園・緑地
基本方針	ガーデンシティの推進		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	21-01-③	施策名	まちなみ緑化の推進	

施策の概要

公園等において緑化を推進することで、まちのうらおいを増やし、花と緑のある憩いの場を創出します。

成果指標(単位)	ガーデニング活動延べ人数(人)				
	令和6年度 (※基準値)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値		609	619	629	639
実績値	599	655			

成果指標実績に対するコメント

公園等のオープンスペースを拠点としたガーデニング活動延べ人数は、前年度より56人増加し、目標値を達成することができた。コーディネーターによるガーデニングボランティアへの技術指導や講習などの取組が、目標値の達成に繋がったと考えられる。

施策の達成度評価

令和3年度に策定した「第3次草津市みどりの基本計画」に基づき各種事業を推進した結果、ガーデニング活動の参加者が増加した。引き続き、市民にガーデニングや、まちなみ緑化に関心を持ち参加いただけるように、広報活動の充実などにより魅力を発信していく必要がある。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、偏差値が高い順に「No.22 暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい」「No.23 私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」となっており、いずれも偏差値が60を上回る結果であった。これは、みどりの基本計画に基づく各種事業を着実に進めたきた結果であり、引き続き、ガーデンシティの推進のため、ガーデニング活動の参加者増に向けた取組を進めていきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

これまでの取組により、一定のガーデニング活動延べ人数がいるものの、活動者の高齢化が課題であり、多様な世代の人に参加してもらえる魅力ある活動となるよう環境づくりを推進する。

花と緑のある憩いの場の創出は、「No.22 暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい」「No.23 私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」といった指標に係るウェルビーイングの向上にも資するものであり、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、引き続き、ガーデニング活動の参加者増に向けた取組を進めていく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
ガーデニング推進事業	公園緑地課	○	コーディネーターによるガーデニングボランティアへの技術指導や講習などの取組を行った結果、期待どおりの成果があったため。
緑化推進事業	公園緑地課	○	緑の募金活動の実施により緑化啓発を行うなど、期待どおりの成果があったため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】								
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
22	暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい	実数	3.7	3.8				
		偏差値	68.0	71.2				
23	私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある	実数	3.8	3.8				
		偏差値	65.4	68.3				
関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】							備考	
客観指標No. (令和7年度)								

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	公園・緑地
基本方針	草津川跡地の空間整備		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	21-02-①	施策名	草津川跡地の整備	

施策の概要

にぎわいが創出され、人と自然がふれあい、うるおいがもたらされる空間づくりに取り組んでいくため、草津川跡地が市民の憩いの場や、多様な市民活動の場、また、多くの人が関わる空間、災害時の防災空間となるよう整備・運営を行います。

成果指標(単位)	「草津川跡地の空間整備」に満足している市民の割合(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	39.6	39.7	39.8	39.9
実績値	39.5	39.4			

成果指標実績に対するコメント

目標値を0.2ポイント達成することはできず、また令和6年度と比較すると、0.1ポイント減少している状況であることから、今後、公園における市民活動の活発化等を行うことにより、市民満足度の向上を図りたいと考える。

施策の達成度評価

区間2(ai彩ひろば)に遊具と日陰対策施設の設置を行った。
また、区間6の整備については、滋賀県や栗東市をはじめとした関係機関と連携して整備を進めることができた。
草津川跡地公園(区間2、5)においては、指定管理者による管理により、公園の良好な環境を維持するとともに、公園のオープンスペースを活かした取組を市民活動団体や民間事業者等と連携して実施できた。
各種団体の断続的な活動ではなく、持続的な活動が公園の魅力を高めていくため、引き続き、きめ細かな対応を行い、多くの方が関わる魅力的な管理運営を行う必要がある。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-being)指標は、偏差値が高い順に「No.22 暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい」「No.23 私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」があり、いずれも偏差値が50を上回る結果であった。
草津川跡地公園(区間2、5)においては、公園のオープンスペースを活かした取組を実施しており、こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、草津川跡地公園(区間2、5)がより魅力的な公園となるよう、引き続き、指定管理者、市民活動団体、民間事業者等と連携していきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

これまでの整備や管理運営により、市民意識調査や指定管理者による公園利用者アンケートで一定の評価をいただいており、公園の空間利用や市民活動団体、民間事業者の持続的な活動を実施していくため、令和9年度以降も公園のさらなる活用や有効的な利用が行えるよう検討を進める。
また、区間6については、関係機関と連携を強化しながら整備を行うとともに、賑わいの創出や公園利用者の利便性向上といった持続可能な管理体制を構築するため、民間事業者の誘致を進める。

「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」「No.22 暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい」「No.23 私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」といった指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、公園のさらなる活用や有効的な利用が行えるよう、公園の空間利用や市民活動団体、民間事業者の持続的な活動を実施していきたい。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
草津川跡地整備事業	草津川跡地整備課	○	区間2(ai彩ひろば)に遊具と日陰対策施設の設置を行うとともに、区間6の工事や民間事業者誘致の事業者公募を行ったことから、期待通りの成果を得ることができたため。
草津川跡地公園運営事業	草津川跡地整備課	○	区間4JR上部の道路付帯施設(広場)の管理、また、草津川跡地公園(区間2、5)において、公園のオープンスペースを活かした取組を市民活動団体や民間事業者等と連携して実施した結果、期待通りの成果を得ることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】													
主観指標項目		区分	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1		3.2								
		偏差値	55.2		57.9								
22	暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい	実数	3.7		3.8								
		偏差値	68.0		71.2								
23	私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある	実数	3.8		3.8								
		偏差値	65.4		68.3								
関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】												備考	
客観指標No. (令和7年度)			38	39	40								

22.情報・交流に関する施策

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	情報・交流
基本方針	まちづくり情報の提供の充実		基本方針に関連するSDGsの目標	 
施策番号	22-01-①	施策名	まちづくり情報の提供	

施策の概要
まちづくりの活性化を図るため、地域の課題解決や、市民公益活動団体の活動を支援するための情報を提供します。

成果指標(単位)	中間支援組織が運営するキラリエ草津協働ひろば公式SNSによる市民活動情報の発信数(件)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	327	333	339	345
実績値	321	194			

成果指標実績に対するコメント
中間支援組織が運営する協働ひろばの公式SNSによる情報発信数については、目標値の6割弱の実績となった。要因としては、情報発信を望まれた事業が当該年度は少なかったことによるものと考えられる。成果指標は目標値に届かなかったが、協働ひろば公式SNSの登録者数はLINEでは552人、Instagramは70人増加させることができた。引き続き、より多くの方に情報が届くよう取組を進めていく。

施策の達成度評価
町内会長全体説明会で町内会活動の課題に対する解決事例等を掲載したまちづくり資料集を配布し、説明を行った。市民活動情報の発信数については、目標値を下回る結果となったが、やみくもに情報発信をするのではなく、市民活動団体等から要望のあった場合の情報発信や、協働ひろばを利用する市民のニーズに合った情報の発信を行うよう努めた。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.36 私はこの町内(集落)に対して愛着を持っている」で、偏差値は60を上回る結果であった。 市民活動等のまちづくりに関する情報発信を継続して行うことで、まちとの接点を増やし、まちへの愛着を深めていただけるよう取り組んでいきたい。

評価に基づいた令和9年度取組についての考え方
まちづくり資料集の説明や、町内会長戸別訪問を通じて、町内会の取組事例や課題の共有が図れるよう取り組む。 引き続き協働ひろば利用者のニーズを把握しながら、より多くの市民にタイムリーな情報が届けられるよう努める。
市民活動等のまちづくりに関する情報発信を行う取組は、「No.36 私はこの町内(集落)に対して愛着を持っている」の指標にかかるウェルビーイングの向上の一因子であると考えられるため、引き続き取組を進めていく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
まちづくり情報事業	まちづくり協働課	○	町内会長全体説明会で、町内会活動の課題に対する解決事例等を掲載したまちづくり資料集の説明・配布を行うことなどを通じて、地域まちづくりの活性化を図ることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
36	私は、この町内(集落)に対して愛着を持っている	実数	3.3	3.3			
		偏差値	66.6	68.6			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)		84							

■施策評価シート

22-01-②

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	情報・交流
基本方針	まちづくり情報の提供の充実		基本方針に関連するSDGsの目標	 
施策番号	22-01-②	施策名	行政情報の提供	

施策の概要

市民による活発なまちづくり活動が展開されるよう、行政情報を提供します。

成果指標(単位)	LINE登録者数(千人)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	22	26	30	34
実績値	18	22			

成果指標実績に対するコメント

LINE登録者数は21,603人となり、目標値は概ね達成できた。登録推進の取り組みについては、広報くさつや市ホームページへの掲載の他、転入者向け配布物へのチラシの封入、庁内封筒および口座振込通知書への掲載、市内就学前施設での保護者への登録依頼、Sigfly登録者への配信、各イベントでの啓発などを行い、令和7年度は3,566人の増加となった。

施策の達成度評価

各課からの依頼に応じて、登録者に対してプッシュ通知やLINE VOOMで様々な行政情報を発信し、活動に必要な行政情報を提供できた。令和7年度は、わたSHIGA輝く国スポ・障スポが開催されたことから、期間中はリッチメニューの国スポ仕様への変更や、公共施設予約システムの項目の追加など、関心を持っていただく情報発信に努めた。また、新たなSNSとして令和7年10月からInstagramの運用を開始し、写真や動画で本市の魅力を発信した。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.36 私は、この町内(集落)に対して愛着を持っている」があり、偏差値が60を上回る結果であった。
本市では、市ホームページやLINEをはじめとするSNSを、重要な行政情報の提供手段として取り組んでおり、こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、より効果的に行政情報を提供できるよう取り組みたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

引き続き、誰もが分かりやすく情報を入手できるよう、LINEの運営に努めるとともに、市民が必要な情報を様々な媒体から入手できるよう、広報紙や市ホームページ、Facebook、X(Twitter)といったSNSなどと連携させた情報発信を行っていく。

LINEを活用した行政情報の提供は、まちづくり情報の提供の充実だけでなく、「No.36 私は、この町内(集落)に対して愛着を持っている」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取り組みであると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、LINEをはじめSNSや市ホームページを活用した行政情報の提供に引き続き取り組んでいく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
広報くさつ発行业	広報課	○	市が推進する施策や計画、市政の現状を市民に周知するため、広報紙を毎月、全世帯に発行することにより、市民と情報を共有することができたため。
シティセールス推進事業	広報課	○	草津市公認マスコットキャラクター「たび丸」の活動や、イベント出演などのKUSATSUBOOSTERSとの連携、シティプロモーションツールの作成等、市内外に向けて本市の魅力を発信することができたため。

■施策評価シート 22-01-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
ふるさと寄附運営事業	広報課
インターネット広報事業	広報課
パブリシティ推進事業	広報課
広報映画制作事業	広報課
市長への手紙事務事業	広報課
人にやさしい広報作成事業	広報課
放送委託事業	広報課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】								
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
36	私は、この町内(集落)に対して愛着を持っている	実数	3.3	3.3				
		偏差値	66.6	68.6				
関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】							備考	
客観指標No. (令和7年度)			84					

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	情報・交流
基本方針	多様な連携・交流の展開		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	22-02-①	施策名	産学公民の連携によるまちづくりの展開	

施策の概要
複雑化する課題に対して、産学公民の多様な知見を持ち寄り、共創型で地域の課題解決に取り組み、存続し続けられるよう都市の価値向上ならびに活気あふれるまちづくりを進めます。

成果指標(単位)	「多様な連携・交流の展開」に満足している市民の割合(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	12.8	13.2	13.6	14.0
実績値	12.4	15.6			

成果指標実績に対するコメント
市民意識調査の結果、多様な連携・交流の展開に満足している市民の割合は、前年度に比べ+3.2ポイントと大きく増加し、目標値より2.8ポイント高い結果であった。産学公民の多様な主体の連携・交流を目的として、立命館大学・パナソニック株式会社と三者連携を締結したこと、また、アーバンデザインセンターびわこ・くさつを法人化し、アーバンデザインセンターにおいて多様な主体の連携・交流を促したことで、目標を上回る成果につながったと考える。

施策の達成度評価
立命館大学・パナソニック株式会社と三者連携を締結したこと、一般社団法人アーバンデザインセンターみなくさを令和7年9月に設立し、新たな事業展開を進めていることで、一定の効果が見られた。引き続き多様な連携・交流の強化を図るため、三者連携の更なる促進による地域課題解決に取り組むことと合わせて、一般社団法人アーバンデザインセンターみなくさと共に多様な主体が連携・交流できる場の提供を行っていく必要がある。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.33 私の暮らしている地域では、地域活動(自治会・地域行事・防災活動等)への市民参加が盛んである」であり、偏差値が70を上回る結果であった。しかしながら偏差値が高いのは30代以上であり20代の偏差値は低いことから、20代への取組について検討していきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
産学公民の多様な主体による都市課題や地域課題の解決を目指し、三者連携の促進や、草津の未来のあり方について話し合える場であるアーバンデザインセンターの運営を行う。
多様な連携・交流の展開は、「No.33 私の暮らしている地域では、地域活動(自治会・地域行事・防災活動等)への市民参加が盛んである」といった指標にかかるウェルビーイング向上に資する取組であると考えており、当該指標が高い水準であったことを踏まえ、引き続き多様な連携・交流が生まれる場の提供を行う。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
アーバンデザインセンター運営事業	草津未来研究所	○	アーバンデザインセンターびわこ・くさつの法人化や、三者協定の締結により、産学公民の連携・交流を深化させることができた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
草津未来研究所運営事業	草津未来研究所

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
33	私の暮らしている地域では、地域活動(自治会・地域行事・防災活動等)への市民参加が盛んである	実数	3.2	3.2			
		偏差値	73.5	74.7			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)		90							

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	情報・交流
基本方針	多様な連携・交流の展開		基本方針に関連するSDGsの目標	     
施策番号	22-02-②	施策名	都市間交流の促進	

施策の概要
多様な人々との交流を展開するため、姉妹都市等との交流など、市民間での都市間交流が活発になるよう、情報提供をしていきます。

成果指標(単位)	「多様な連携・交流の展開」に満足している市民の割合(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	12.8	13.2	13.6	14.0
実績値	12.4	15.6			

成果指標実績に対するコメント
市民意識調査の結果、多様な連携・交流の展開に満足している市民の割合は、前年度に比べ3.2ポイント上昇し、目標値を達成することができた。令和7年度は、国内だけでなくポンティアック市への訪問事業を通じた国際的な都市間交流や、観音寺市合併10周年記念式典への出席、伊達市との継続事業としてみらいKIDSにぎわい交流事業を草津市で実施することができたことなどが要因の一つと考えられる。

施策の達成度評価
国内での都市間交流について、伊達市とクリスマスブーツを通じた交流やみらいKIDSにぎわい交流事業、観音寺市の合併10周年記念式典や観音寺市庁舎での姉妹都市広報などを通じて、両市の市民に対して姉妹都市・友好交流都市についての周知を行うことができた。また、国外での都市間交流について、ポンティアック市に市使節団を派遣し、両市の相互理解を深めることができた。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.45 暮らしている地域は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい」、「No.46 将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい」に寄与するものであり、偏差値はそれぞれ53、80という結果であった。引き続き、都市間交流を進める中で、お互いのまちの魅力や歴史、文化、伝統に触れ、将来の世代のために良い環境を残すという意識を育み、民間同士での交流を促進できるよう取組を進めていきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
伊達市および観音寺市との交流については、市民活動団体が継続的に交流事業を実施している。市民間で都市間交流が活発になり、多様な人々との交流が展開できるよう、今後も広く市民に都市間交流についての情報発信を行うとともに、市の関わり方について他の自治体も参考に研究する。
市民間で都市間交流が活発になるよう情報提供を図ることは、「No.45 暮らしている地域は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい」「No.46 将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも繋がると考えており、今後も、多様な人々との交流を展開するための取組を進めていきたい。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
姉妹都市等交流事業	まちづくり協働課	○	国内外問わず姉妹都市・友好交流都市との交流を行い、市民への周知を行うことができたため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
45	暮らしている地域は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい	実数	2.8	2.9			
		偏差値	51.3	53.2			
46	将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい	実数	4.1	4.1			
		偏差値	80.0	80.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)									